

R 4 年 度 古 典 B （ 2 学 年 ） の シ ラ バ ス

校 長		教 頭	
--------	--	--------	--

科目	古典 B	単位	2	学年	3	金城仁美 照屋賀代子 島田聖子 古堅裕之
使用教科書	高等学校 古典 B 改訂版(三省堂)			副教材	古典 B 学習課題ノート	

学習の到達目標	古典としての古文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。
---------	--

評価の観点		
a. 関心・意欲・態度	b. 読む能力	c. 知識・理解
古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。

時数	学習項目	学習内容(ねらい)および評価の観点	a	b	c	評価方法
8	枕草子	- 随筆を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 - 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 - 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。	○	○	○	- 発問評価 - 授業態度 - 指名音読 - 学習課題集の提出 - 定期考査
4	小話「季札挂剣」	- 比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。 - 基本的な句法・語法を理解する。	○	○	○	- 発問評価 - 授業態度 - 指名音読 - 学習課題集の提出 - 定期考査
10	伊勢物語	- 物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとする。 - 文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。 - 形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。 - 歌物語の特徴を理解する。	○	○	○	- 発問評価 - 授業態度 - 指名音読 - 学習課題集の提出 - 定期考査
4	方丈記	- 筆者の無常観や人生観を読み取るとともに、当時の社会状況について理解する。 - 音読を繰り返し、対句表現や比喻表現の面白さを読み味わう。 - 形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	○	○	○	- 発問評価 - 授業態度 - 指名音読 - 学習課題集の提出 - 定期考査
16	史記	- 長めの文章を読んで、漢文に親しみをもち、話の内容を理解する。 - 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 - 中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 - 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 - 否定・限定・使役・疑問・反語・感嘆・仮定・願望などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 - 歴史の中の人間について考える。	○	○	○	- 授業態度 - 発問評価 - 指名音読 - 学習課題集の提出 - 課題の提出 - ノートの提出 - 定期考査
16	源氏物語	- 長編物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 - 和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を考える。	○	○	○	- 授業態度 - 発問評価 - 指名音読 - 学習課題集の提出

		・敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす。				・定期考査
4	小話「病入膏肓」	・比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。 ・基本的な句法・語法を理解する。	○	○	○	・発問評価 ・授業態度 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・定期考査
8	儒家・道家の思想	・中国の主要な思想の主張の概要を理解する。 ・それぞれの思想の違いを理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・比較・疑問・二重否定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・古代中国の思想から現代に通ずるものの見方・考え方を知る。	○	○	○	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・学習課題集の提出 ・ノートの提出 ・課題の提出 ・定期考査

【課題・提出物など】

- ① 授業で使用したプリントやワークシート
- ② 授業で作成した資料や制作物など
- ③ 相互評価カード
- ④ 授業ノート

【評定方法】

提出物の評価と定期考査の成績、小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度などを総合して評価します。

確かな学力を身につけるためのアドバイス	・「古典B」は「国語総合」での古文・漢文の基礎を発展させる科目です。授業でさまざまな古典の文章を読むことをとおして、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにします。また、語句の意味・用法、文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。 ・本文をノートに写し、わからない語句は辞典を使って調べておきます。口語訳まで自力でやることを予習とするよう習慣づけましょう。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。特に文法や漢文の句法は繰り返し練習しましょう。
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	・授業中に感じた疑問などは、その場で質問してください。 ・課題・提出物などは期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うよう努めてください。